

世界水準の自転車都市、清水区小学校の自校式給食、井川登山観光基地構想を考える



「世界水準の自転車都市」を目指しながら自転車分担率減少の打開は？ 清水区小学校の自校式給食は災害時避難所食料提供含め継続すべきだ！ 南アルプスを愛する山岳会関係者の井川登山観光基地構想を考える！

<自転車>9月議会

市議会議員全員が受講者となった「自転車の安全利用確保条例」が可決された。「世界水準の自転車都市」といながら交通実態調査(2016年11月9日)ではマナーだけで解決のつかない道路の整備課題も明らかになった。例えば、本通りにおいて安倍川方面からの自転車レーンが中野交差点の手前でなくなっていることや安倍川橋自転車道を抜けたあと自転車が進む通行帯がないことなど。

【質問】「世界水準の自転車都市」を目指す市長の基本姿勢を伺う。

【回答】「世界水準の自転車都市」を目指す市長の基本姿勢を伺う。自転車を利用しやすい道路基盤を整える「ハード」、自転車のルールやマナーを身に付ける「ソフト」、市民の誰もが自転車を楽に「マインド」の構築を充実させることが重要だ。「二輪 tandem 自転車の公道走行解禁」に向け「走行体験会」などを進める。2017年11月の「自転車利用環境向上会議」で「自転車都市づくり」を全国へ大いにアピールしたい。

【質問】移動手段としてのマイカーやバス、自転車などの分担率の中で自転車は、政令市の上位4番目ながら、2012年第4回「パーソナルリブ調査」では10年前の20.1%から18.3%に下がっている。分担率向上に向けた対応策は何か。

【回答】「静岡市自転車利用計画」で2034年の自転車分担率目標30%を掲げた。自転車は他の交通手段に比べ5km未満を効率的に移動できるため5km未満の自転車利用者に転換を誘導する。

【質問】LRTの導入が噂されているが、清水区優先とのことであるが、駿河区、清水区の各路線の距離を短くプロポザルによる全国事業者へ

の投げかけ、蓄電池LRTの研究など事業者を小規模に3区同時着工の検討も必要だ。

【質問】蓄電池LRTは「都市の真価」として有効である。課題として「都心部への自動車流入量の適正化」、「需要の確保」、「事業費の精査」などがある。今後BRTを含め検討する。

<学校給食>9月議会

静岡市の学校給食は、清水区で小学校が自校式、中学校が郊外調理方式、駿区-駿河区でセンター方式という三つのシステムとなっている。今後の方向性として2016年の行財政改革推進委員会において、多くの委員は自校式をベターとしていたが、12月にはアセットメント、衛生面でセンター方式に優位性があるとの結論を出した。前本地議など多発する災害時での避難所の食料提供という観点も含め自校式を再評価すべきと考える。

【質問】教育長は学校給食についてどのように考えているのか。

【回答】「安心・安全な給食」と「食育の推進」に加え、「静岡ならではの献立」により「日本一おいしい給食」の提供を目指している。

【質問】大政市の防災計画では「給食施設が避難先として利用される場合」を想定しているが静岡市ではどうなっているか。

【回答】静岡市の防災計画には「給食施設が避難先として利用される場合」を想定しているが静岡市ではどうなっているか。

【質問】静岡市の防災計画には「給食施設が避難先として利用される場合」を想定しているが静岡市ではどうなっているか。

の投げかけ、蓄電池LRTの研究など事業者を小規模に3区同時着工の検討も必要だ。

【質問】蓄電池LRTは「都市の真価」として有効である。課題として「都心部への自動車流入量の適正化」、「需要の確保」、「事業費の精査」などがある。今後BRTを含め検討する。

<南アルプス>11月議会

交通アクセスの不便さ故に南アルプス入山者が長野県や山梨県に奪われている現状が残念でならず、「井川山岳観光都市構想」が山岳会関係者から提唱されている。山岳会の方々は、南アルプス計画されたエリア新幹線延伸に大きな懸念を示した。

【質問】静岡市など中部5市2町で構成する静岡国中部・志太権連連DMOにおいて南アルプスへの登山者・観光客拡大はどのように位置づけられるか。

【回答】南アルプスへの誘客は容易ではない。しかし、そこに行かなければ体験できない大自然がそれらに育まれた文化は何者にも代え難い魅力であり特

色である。地域連携DMOの有力な観光資源として位置づけ、保全と活用のバランスに配慮し登山者・観光客を拡大していきたい。

【質問】3月18日に大井川井川線が復旧する。観光客数は島田市218万、川根本町24万、井川12万だが、井川地区への今後の誘客はどの程度か。

【回答】井川ダムなどの土木施設へのいわゆるインフラツーリズム、また日本の景風量とも言うべき行先を待つ井川地域の山肌風景保存にも期待し、島田、川根本町とも連携し広域周回観光ルートの構築に繋げたい。

【質問】エコパーク指定以降の登山者数の動向はどうか。林道東保線への陸面バス運行の課題は何か。

【回答】エコパーク指定以降の登山者数の動向はどうか。林道東保線への陸面バス運行の課題は何か。

【質問】中部権連連DMOにおいて湧水、トンネル崩落、自然由来の重金属の発生で工事2年経たず、南アルプスにおいて対策を検討すべきではないか。

【回答】南アルプスについては様々な観点で活発な議論が示されている。只東海山岳連合計画が明らかになった時点で保護保全措置が盛り込まれるよう協議していく。

20年前の「県・市補助金を原資とする真金」発案！ 川村会長「全額返還」に静岡市「注視する」 返還求める住民監査請求 (12月12日)



昨年11月、県バスケットボール協会会長川村修氏は1995年、1999年のアジア女子バスケットボール選手権大会への県からの補助金3734万円、市からの補助金7468万円を含む公金を原資とした「不透明な資金」が5000万円、「真金化」して「公金が入っている以上、全額返金すべき」と主張し会長サイドの調査結果を公表しました。議会として放置できないと考え総務課長、

- 【質問】**川村会長の調査依頼にどう対応したか。
- 【回答】**文書保存期間10年過ぎたので資料はあく適正に処理されたと認識している、と回答した。
- 【質問】**会長サイド、事務局に状況確認の行く意思はあるか。
- 【回答】**重大な関心を持って注視していきたい。
- 【質問】**監査委員に市長からの要求監査、監査委員自身による監査の考えはあるか。
- 【回答】**事実関係が明らかになる道が見えないので推移を見守る。
- 【質問】**監査に必要な資料や情報が不十分で推移を見極める。
- 【回答】**この問題の経過はあるのか。
- 【質問】**不法行為による損害賠償が成立する場合、時刻年数は変わるか。
- 【回答】**不正があった場合、補助金交付規則に基づいて返還請求する意思はあるのか。
- 【回答】**当面は推移を見守る。

国民健康保険料 引き下げを求める 請願に賛成 低所得者臨時福祉給付金 20億円など審議し可決



11月・12月議会の補正予算は66億7900万中、厚生委員会予算は24億5600万。そのうち20億3720万は、消費税率5%～8%による低所得者への影響を緩和するために、国民健康保険料引下げ世帯(生活保護者などは除く)88000世帯(12万2000人)に食費への影響額1人6000円、2年半分1万5000円を支給するものである。

他に特養児童対策として保育者の定員拡大、こども園への移行、児童クラブ建設費など2000万、やまゆり学園無差別給付事件を踏まえ保育施設や障がい者施設の防災対策など7700万、薬が1児放後ケアサービス2億6000万を可決した。

尚、医療を良くするから「国民健康保険料の引下げ」(請願(2年連続引下げ)は、2018年からの静岡民が保険者となる広域化という不確定な現状もありますが41億円の基金、26億円の予備費という現状を考えると引下げは可能と賛成しました。

(写真は児童相談所視察 12月14日)

写真で見る まつや清 活動の日々



8月22日 ● ベーテル麻織「第2校区」で「ひまわり鑑賞会」「流しそらめん」。(城北町内会)



8月29日 ● 外国人無料検診会:チャリティコンサート(英和女学院礼拝堂)



10月16日 ● 第23回ゴミゼロフェスタもったいない市:ボランティアで交通整理係



10月19日 ● 全国市議会議長会:超党派市議会大壮サークル 演奏でもてなし



11月13日 ● 第19回外国人無料検診会(済生会病院):まつや、実行委員会事務局次長



11月27日 ● 静岡・新潟県人会発足70周年記念誌発行パーティー



【まつや清の懐事情】

**この時期の議員の一時金引き上げに反対
受け取らず法務局に供託 50万5807円
47人の中でただ1人**

■法務局への供託金一覧 (単位:円)

項目	支給額 (a)	所得控除 (b)	供託額 (a-b)
2014年冬季期末	119,340	26,500	92,840
2015年夏季期末	119,340	26,500	92,840
2015年冬季期末	119,340	26,500	92,840
2015年度年度末	79,560	14,821	64,999
2016年夏季期末	99,450	18,276	81,174
2016年冬季期末	99,450	18,276	81,174
合計	636,480	130,673	505,807

2015年10月より、支給額から所得控除を差し引いて、法務局に供託しています。

自らの報酬や一時金を決定できる立場にある議員が引き上げに反対して受け取らないことは政治信条として潔しとせず、6期にわたる引き上げ63万6480円のうち税金を引いた50万5807円を47人の議員の中でただ1人、法務局に供託している。引き上げに反対の理由は2つ。①消費税5%~8%の引き上げによる生活、経済への影響、更に政府自身が10%増税を2019年10月まで延期している現状の中で政治に関わる議員の引き上げは許されない。②市議員の引き上げ(下げ)は人事委員会によって民間と比較され客観的評価が行われている。議員の場合「特別職等の報酬審議会」条例に基づく「一時金は対象となっていない」として審議会は開催されない。昨年9月新開市議会では一時金を審議対象とする条例改正が行われた。



**日本年金機構の125万件の
情報漏えい(2015)
マイナンバー(共通番号)
連携復活条例改正に反対
市民団体 1月中旬
「相談ホットライン」設置**

サイバー攻撃に多量訪問、職員教育などで対応できるとして昨年10月基礎年金番号とマイナンバーの連携復活の閣議決定。それに伴い、11月議会で条例改正が提案された。マイナンバー制度に対しては大量の個人情報漏洩の危険性、国家による個人情報の一括管理など問題は多いとしてこれまでも反対。また全体システムも完成していないのにマイナ



パー記載の強要があとこちらで始まっている。1月末までの事業者の給付支払い報告、3月の確定申告では記載しなくても問題はない。6月市役所から事業者、本人に行政内手続きでマイナンバー記載の市民税通知を簡易書留でなく普通郵便で行おうとして混乱が予想される。マイナンバーを考える会は1月中旬に「相談ホットライン」を計画中。

2月定例会会議スケジュール 2/16~3/10 23日開

2/23・24・27・28	本会議(総括質問)
3/1・2	総務委員会 市民環境教育委員会 企業消防委員会
3/3・6	厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会
3/10	本会議(議案上程・委員報告・質疑・討論・決案)

まつや清プロフィール
1951年新潟県柏崎市生まれ 静岡大学工学部中退
1987年、静岡市議会議員(3期)、静岡市議会議員(1期)、国会議員政策秘書を経て2009年より静岡市議会議員(2期目)

- 全国自治体議員立憲ネットワーク共同代表
- 南アルプスエリア市民ネットワーク共同代表
- 福島子ども支援基金代表 ■ 親子わくわくピクニック実行委員会共同代表(福島の子どものための自然体験ツアー)
- 浜岡原発止めます本派の会共同代表
- 外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会事務局次長
- 城北市内会新聞 ■ 和太鼓サークル「座・放電」会員
- 緑の党しずおか所属

EVENT INFO イベント・インフォメーション

■まつや清を応援する会 城北事務所開所式
1月22日(日)9:00~ 場所:まつや清城北事務所

■新春企画「孫正義を語る」講演会
2月4日(土)15:00~ 場所:再ざらあ

■「幸せ」と素直に言える静岡市をめざして
トークセッション 3月5日(日)14:30~
場所:もくせい会館 ゲスト:山本コウタローさん

発行:まつや清を応援する会
静岡市東区豊原3-3-1 井口ビル2A 地球ハウス内 TEL:054-209-5677
連絡先:まつや清市議会議員控室
静岡市役所本館2階「緑の党 Greens Japan」内 TEL:054-254-2111

日々の活動はブログ「まつや清の日記」をご覧ください。
<http://blog.goo.ne.jp/matsuya-kiyoshi/>

2017冬 2017年1月1日発行

マツキヨ通信

発行:まつや清を応援する会 〒420-8390 静岡市東区豊原3-3-1井口ビル 2A TEL:054-209-5677
E-mail:chikyuu_houte@yahoo.co.jp

静岡市議会議員 **まつや清**

静岡市議会厚生委員会所属 清輝対策委員会所属
総合治水及び災害対策委員会特別委員所属 議会運営委員会オブザーバー
各会派代表者会議オブザーバー 環境太鼓サークル「楽陣太鼓」事務局長

緑の党
グリーン・フォー・マシ

管内交通・通信費領収書の全面公開を



**「市政うおっちゃんぐの会」、政務活動費 市議会議員に申入れ
問われる静岡市議会の情報公開のレベル 富山市議会の教訓
会派「緑の党」は管内調査交通・通信費の支出せず**

昨年10月、11月の2ヶ月の間に静岡市議会の政務活動費に関するニュースが連続的に報道されました。12月には県議会の「驚くべき」支出報道もあり「議員なんて所詮、そんなもの」「税金を何だと思っているのか」との怒りや不信が広がっています。「市政うおっちゃんぐの会」(代表:入江とし子・鳥居千春)から12月15日、1、議長の政務活動費に関する記者会見、2、管内調査費交通通信費の領収書の全面公開、2インターネットでの公開など政務活動費改善検討委員会の設置が栗田裕之議長に申入れされました。

■情報公開コーナーで公表されている一例

区分	領収書計	内政務活動費 領収書計
1 ガソリン代	6,468	4,527
2 タクシー代	42,240	29,568
3 運転代行代		
4 バス、電車代		
5 駐車場代	600	420
6 携帯電話代	9,942	6,959
7 自宅電話・FAX代	6,109	4,276
8 自宅インターネット代		
計		¥45,750

管内調査交通・通信費とは静岡市内、旧徳川市、旧富士川町、旧御前町の区域における政務活動に關する交通費(ガソリン代、駐車場代、バス代、タクシー代、運転代行代等)及び通信費(電話代、携帯電話代、インターネット接続料など)を指します。領収書は各会派で保管され、支出内容によっては、ひとつの活動が政務活動と政務活動や私生活などの両面を有し、混同一体となっていることが多いので各会派独自に区分設定がある。

報道されたニュースの見出しは、「静岡市議会6会派の交通・通信費 報告書に領収書添付せず 政務活動費 市条例に抵触か(朝日)」、「県内11議会 領収書不用 政務費 宿泊代で定額制 差額でタクシー、手土産」(中日)、「政務費 透明性に課題 県内24議会が支給 第三者のチェックなし」(静岡)。更に「政務費で濁面3万円制作 静岡・自民市議員」地元の情報PR」(朝日)報道があり制作費1256万円に上り、住民監査請求が行われました。静岡市議会は議員一人1ヶ月25万円、会派人数分を各会派に3か月分ずつ前渡しされ年度末に精算します。管内調査交通・通信費は情報公開を前提に、各会派において所属議員は各会派で保管され、支出内容によっては、ひとつの活動が政務活動と政務活動や私生活などの両面を有し、混同一体となっていることが多いので各会派独自に区分設定がある。

め交通・通信費の個人使用を認めていません。既に会派管理の領収書を求めに応じて閲覧させている会派もあります。市民グループから開田議長には、検討課題としてマスコミから指摘された条例違反、宿泊費の定額制、第三者チェック制度のほか、①現段階公表書類及び会派所管の領収書等のインターネットで公開、②各会派の領収書の妥当性の検証と共通化、③全派保管の領収書と政務活動の関係がわかる記録簿を作成し公開、④政務活動費の本来的あり方を改めて再確認すること、などが要請されました。議長は「各会派の動きを見守っている」との対応でしたが「スピード感ある改革姿勢」が求められています。県議会議員の不正、目的外使用は到底認められるものではありません。ご意見をお待ちします。

議会報告会と共に
様々なテーマで
地域の方々と
交流しました



11/23 ●城北地区の未来を語り津軽三味線を聴く会 演奏:茂田一歩さん(千鳥三協会 会長)
11/25 ●南名楽々カフェ 日本の英語教育を考える会 講師:奥村曉さん(一般社団法人CCアーツ)外代表理事
11/26 ●南名楽々カフェ 地域包括ケアを考える 講師:鳥居千春さん(エコハウスしずおか)